

## 新井さんの100歳を慶祝

新井ミツさん(大正12年6月10日生まれ・秋畑)が100歳の誕生日を迎えられ、6月10日に茂原町長が自宅を訪問し、慶祝状と祝金を手渡しました。

新井さんは富岡市額部の生まれで、幼少期は秋畑で育ちました。24歳で結婚後、農業の手伝いや土器の発掘の仕事などに従事し、その間2男2女に恵まれ、孫11人、ひ孫21人がいます。

長寿の秘訣は「好きなものを自由に食べること」で、現在デイサービスに通い周囲の人との会話を楽しみながら、自宅では大好きな畑仕事をして穏やかに過ごしています。



## 中学生が自らの思いを伝える 少年の主張



後列左から 清水(空)さん、清水(海)さん、中島さん、黒澤さん、荒木さん、茂原さん、大類さん

前列左から 土筆さん、大澤さん、森田さん

第37回少年の主張甘楽町大会が6月16日、甘楽中学校体育館で開催されました。

代表生徒10人は、家庭や学校生活、社会の中での体験や心に感じていることを自分の言葉で主張しました。堂々と発表する姿に会場から大きな拍手が送られました。

審査の結果は次のとおりです。最優秀賞の受賞者3人は、7月1日に甘楽町文化会館で開かれる西部地区郡大会に出場します。

賞	学年	氏名	題名
最優秀賞	2年	土筆心愛	今を楽しめる二つの言葉
	3年	大澤晴空	あの日私を変えてくれた友人へ
	3年	森田望花	守り伝える

※各賞の学年順に掲載しています。(敬称略)

※発表内容は町ホームページでご覧いただけます。→



賞	学年	氏名	題名
優秀賞	1年	清水空麗	「かわいそう」じゃない
	1年	清水海美	返す言葉
	1年	中島千菜乃	自分で決めた部活だから
	2年	黒澤友稀	いじりといじめの境界線
	2年	荒木皐佑	Verbal expression
	2年	茂原衣颯	「できる人」とは
	3年	大類龍聖	戦争

# 甘 楽中生が躍動！県中学校春季大会(6月3・4・10・11日開催)



優勝の女子ハンドボール部



優勝の男子ソフトテニス部



準優勝のバレーボール部

群馬県中学校春季大会が6月に開催され、甘楽中学校の生徒が熱い戦いを繰り広げました。上位成績を収めた生徒を紹介します。



準優勝の水泳女子団体

左から長岡朱莉さん(3年)、長岡風菜さん(1年)、堀口真奈さん(3年)、黒澤実栞さん(3年)



市川 巧さん(3年)

女子4×100mリレー 《出場選手4人は準優勝した団体メンバーです》	メドレーリレー	第2位
	フリーリレー	第3位
【個人】 長岡朱莉さん (上写真左から1番目)	400m個人メドレー	第4位
	200m個人メドレー	第6位
【個人】 長岡風菜さん (上写真左から2番目)	200m平泳ぎ	第1位
	100m平泳ぎ	第8位
【個人】 市川 巧さん	100m背泳ぎ	第6位

## アンブレラスカイ 広がっています

6月上旬まで甘楽総合公園内で開催され多くの方が訪れたアンブレラスカイ。総合公園内のイベントは終了しましたが、町の中で見つけることができました。



菓子工房こまつや



ら・ら・かんら



甘楽中学校の中庭

甘楽中学校では、生徒会の皆さんの提案により多くの生徒が参加できるよう各クラスの分担を決め飾り付けを行いました。

見る人を魅了するアンブレラスカイが、町の新たなにぎわいの一つになりそうです。



# 優勝は20区若連会！町春季野球大会

第46回町春季野球大会の決勝戦が6月4日に甘楽野球場で開かれ、20区若連会が優勝しました。

大会結果、個人賞は次のとおりです。(敬称略)



優勝…20区若連会(右写真)

準優勝…柴田ブルズ

☆最優秀選手賞…加藤慶貴(20区若連会)

☆殊勲賞……………五井冴紀(20区若連会) ☆敢闘賞……………黒崎 忍(柴田ブルズ)

# パンが焼けたよ 稲含塾

旧甘楽第三中学校の校庭で6月4日、町内の児童と保護者ら約70人が野焼きパンとカレー作りに挑戦しました。材料の入ったビニール袋の中でパン生地をこねて発酵させ、竹棒に巻いて炭火で焼き上げました。

「袋を振ったりしながら材料を混ぜるのが楽しかった。自分で作ったパンは特別においしい」と新屋小学校3年の長岡 柊さん。食後は川で水遊びを楽しみ、少し早い夏を満喫しました。

これは町民有志による野外活動グループ「稲含塾(浅香勇二代表)」主催の年8回ほどの企画の一つ。各回ごとに小学校経由で参加者を募集し、次回は7月29・30日に4年生以上を対象にテント泊や雄川の源流を探検する「キャンプアドベンチャー」を予定しています。



# 食文化ミュージアムに認定

こんにやくパーク(小幡)が、文化庁の食文化機運醸成事業「食文化ミュージアム」に認定されました。

これは、ウェブ上の仮想ミュージアムにおいて、特色ある食文化に関する発信や体験を提供している施設情報を紹介することで、多くの人が食文化に触れ実際に各施設に足を運ぶ機会につなげることを目的とした取り組みです。

こんにやくパークは、日本の伝統食材である“こんにやく”の文化とおいしさを伝えるため、工場見学や試食バイキングを通じて魅力を発信している点が評価されました。

横尾浩之社長は「群馬県を代表する“こんにやく”が認められて大変うれしいです。もっともっと食べやすいおいしいこんにやくを開発していきます」と話しました。

# こんにやくパーク



認定証を持ち「学んで、食べて、体験してもらい、こんにやくの魅力をお伝えします」と話す広報の齊藤さん

# 初夏の鉢植展示会

甘楽町鉢植クラブ(田中宏一会長・会員22人)の初夏の鉢植展示会が5月26~28日、町文化会館で開かれました。サツキやグミなど花や実を付けた鉢植えなどを主木にした席飾りのほか、定番の飾り方にとらわれず披露したい一品を展示した「自慢コーナー」を設けるなど、多くの作品が並びました。

田中会長は「花物、実物、新緑を中心に多くの作品を飾りにぎやかな展示となりました。会員は自慢の鉢植えを見てもらえ、来場者の目を楽しませることができたかなと思います」と話されました。



作品を鑑賞し来場者と会員の会話も弾みました

# 人権擁護委員が表彰

富岡人権擁護委員協議会の総会が5月17日、富岡市生涯学習センターで開かれ、人権擁護委員の森田稔さん(善慶寺)が群馬県人権擁護委員連合会長表彰を受賞しました。

森田さんは、平成31年から委員を委嘱されており、地域住民の皆さんに人権思想を広めてきました。特に小中学校を中心に人権教室を通じて人権侵害が起きないように啓発活動に尽力した功績が認められたものです。



# 大名庭園でホタル舞う

「大名庭園のホタル鑑賞会」が、5月26・27日、6月3日に国指定名勝楽山園で開かれました。

ろうそくの灯に照らし出された夜の庭園の水辺にホタルが舞う幻想的な光景が見られました。

3日間で約2,800人が訪れ、カメラやスマートフォンでホタルを撮影する人、普段は味わうことのできない夜の楽山園を散策する人、凌雲亭で抹茶を楽しむ人など思い思いに過ごしていました。

今年は御殿前通りにラーメンやスイーツのキッチンカーが登場し、新たなにぎわいも生まれました。



# ガーランド製作



民生委員・児童委員が子育てを応援する子育てサロン「さくらんぼ」が、にこにこ甘楽の子育て支援センターで月2回開催されています。

6月21日には「光の影絵〜ガーランド製作」が開かれ、親子18組36人が参加しました。セロファンを丸と星の形のフレームではさんだパーツが用意され、参加者はカラーセロファンを貼り付けたりペンで模様を描き装飾しました。各パーツと紙粘土で作られたオブジェを麻のひもで結びつけ、窓に飾ると日の光が透ける素敵なガーランドが完成しました。

